

## 佐賀県の視覚障害教育を結ぶ



あっという間に一学期が終わりました。児童生徒たちも新しい環境に慣れ、学習活動等に積極的になってきたころかと思います。始まったばかりの長い夏休みですが、これもまたあっという間に終わり、長い二学期が始まります。二学期には遠足や体育祭など、様々な行事が計画されている学校も多いことと思います。行事の前後は日ごろの時間割や教室等がいつもの場所から変更になることも多く、日ごろとは異なる配慮が必要になることがあります。そこで、今回は行事時の配慮事項についてお知らせします。

## 行事における配慮について

### 運動会・体育祭について

○徒競走：走るラインがわかりにくい、ゴールがわかりにくい



走る順番が後になると、コースのラインが消えていき、余計にわかりにくくなることが多いようです。ラインをはっきり見える色や太さで引いておき、早めの走順にする等の手だてがあります。コーナーがある場合は、コーナーの内側に人や視認しやすい色の三角コーン等を置いてわかりやすくすることも大切です。また、ゴールについてはゴールテープを持つ先生が声や音で知らせたり、ゴール前方に目印となるような目立つ色の三角コーン等を置いておくとも有効です。

○玉入れ：玉を入れるかごが見えない・上手く玉を拾うことができない



玉を入れるかごが遠いため、視力や視野の問題で見えにくいことがあります。また、人の体がチラチラと視界を遮り、投げるための玉を拾うことが難しいこともあるようです。かごが見えやすいように色をつけたり、テープや飾りをつけたりする工夫ができます。また、玉は手渡したり、箱やかごの中に入れておき、そこから取って投げるようにするとわかりやすくなります。

## ○リレー：バトンパスが難しい



バトンを渡す時も、もらう時も、声で知らせるようにします。また、先生がバトンパスのタイミングを声で知らせることも有効です。チームごとに、違う色のビブス等を着用し、バトンを渡す相手をわかりやすくすることも有効です。その際、色が見えにくいといった色覚の特性を持つ児童生徒の場合、その見え方によって赤と緑、緑と茶色、ピンクと水色などの組み合わせは避けた方がよいかもしれません。

## ○体操やダンス：手や足の動きの模倣、移動等の動きが難しい



手を実際にとって具体的に一緒に動かしたり、ステップ等を個別に練習する等の支援が必要です。また、「右手を上には伸ばして、耳の横にしっかりつけて」等、言葉で細かく説明することや、お手本になる児童生徒の後ろで行うことが有効な場合もあります。

## ○応援：競技をしている場所が遠かったり動きが速かったりして、何をしているか、どういう状況なのかがわからない



横で現在の状況を説明したり、状況が許せば傍に行って見るようにすると、楽しく参加できるようになるかもしれません。

運動会や体育祭は、長い時間外で活動します。まぶしさへの対策として、つばの広い帽子の着用や、遮光眼鏡をつけることも大切です。

いずれの場合も、いつもとは違う環境での活動になるため、事前や当日の細やかな説明や練習はとても大切なことだと思います。

## 遠足・修学旅行について



### ○事前学習：電子黒板での細かい内容が見えにくい

行先の説明等を行う場合、電子黒板の情報をタブレットで見られるようにしたり、印刷しておいたりしておくとしっかり確認することができます。

### ○移動：大勢で一斉に移動するのが難しい・先生がどこにいるのかわかりにくい等

人込みの中を歩く時などに不安を感じる児童生徒も多いようです。引率の先生が、目立つ色の帽子や上着を着てくださると、集合の際など、見つけやすくなります。また、友達と一緒に行動するようにすると安心感が持てます。

普段乗り慣れない乗り物や、初めて乗る乗り物も多いことと思います。事前に乗り物の形や入口の場所、階段やステップの数や場所等、しっかり確認しておくことが大切です。特に、電車はホームと電車の間はかなり大きな隙間がある場合もあります。乗車の際には、横でしっかり確認することが重要です。

### ○施設等の見学：展示物等が遠くて見えにくい

博物館等の見学に行く際、事前に連絡をしておく、一部のものを手に取って触らせてもらえたり、反射等で見えにくい場合はガラスのケースから出してもらえたりすることがあります。必ずそうして頂ける訳ではありませんが、児童生徒のよりよい学習のために連絡を試みる価値はあると思います。また、単眼鏡を使用したり、必ず許可を得てからにはなりますが、タブレット等で撮影させて頂き手元で見るとも有効な手段の一つです。その際、近くで確認することができたら、必ずデータを削除することは当然のマナーであり、そのことを児童生徒に指導することも必要です。

### ○トイレや浴室等：初めての場所で分かりにくい

トイレは、すぐに中が見えてしまわないように、入口から少し入り組んだ構造になっていたり、流水レバーやトイレットペーパーの場所が分かりにくい場合もあります。先生も一緒に中に入って流水レバーやトイレットペーパーの場所等を一緒に確認し、先生は個室を出たり、離れた場所で待ったりしていただくと安心することができます。

浴室についても、家とは違うため、多くの戸惑いがあります。特に、シャワー等は熱湯を頭からかぶってしまう危険性もあり、注意が必要です。事前にレバーや構造をしっかりと確認し、安全に使用できるようにすることが大切です。

以上のように、今回は行事における配慮点をお伝えさせていただきました。共通することは、

- 事前に実際に見たり、詳しく説明する等、入念な確認をしておく
- 言葉や線の色や太さ等、児童生徒本人の見え方に応じた分かりやすい方法で支援する
- いつもとは異なる状況や場面ばかりのため、目を離さない

ことだと思います。緊張や不安ばかりでは児童生徒が本来の力を発揮し、楽しむことは難しいでしょう。先生方の配慮や工夫で、様々な行事が良い思い出となることを願っています。

佐賀県立盲学校

電話 (0952) 23-4672

FAX (0952) 25-7044

代表メール [mougakkou@education.saga.jp](mailto:mougakkou@education.saga.jp)

お気軽に御連絡ください。巡回相談の依頼も受け付けています。